

<取材のお願い>

2023年7月4日

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

インド、モンゴル、島しょ国の優秀な高校生ら 97 名が堀川高校を訪問 ～ 国際的頭脳循環の第一歩となることを目指した高校生交流 ～

7月11日（火）、JST さくらサイエンス・ハイスクールプログラムで来日予定（7月9日～15日滞在）の、インド、モンゴル、サモア、ソロモン諸島、トンガの高校生 83 名、引率教員 14 名、計 97 名が、京都市立堀川高等学校を訪問し、同校の生徒たちとともに、科学をテーマとした交流活動を行います。

さくらサイエンス・ハイスクールプログラムは、「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」の一環として実施されています。参加する海外の高校生たちは、各国の政府機関によって選抜された優秀な生徒たちで、現地のメディアにたびたび取り上げられるなど、「各国の代表」として注目を集める存在です。

* 「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。2014年の事業開始以来、約 35,000 名以上の青少年が来日し、そのうち約 7%が学術や就業を目的として再来日しています。

<https://ssp.jst.go.jp/>



堀川高校では、スーパーサイエンススクール(SSH)に指定される同校が伝統的に実施している「探究道場」に参加し、同校の生徒たちと協力して課題解決に取り組みます。また午後には、北川宏京都大学大学院理学研究科教授による、特別授業「現代の錬金術 (Modern Alchemy for New Nano-Materials: Binary to High-Entropy Alloys)」を受講します。本プログラムを通して日本と海外の高校生同士の交流が深まることで、国際的頭脳循環を促進するための第一歩となることが期待できます。

つきましてはご多忙中とは存じますが、海外の高校生が堀川高校の生徒と交流をする様子、北川教授の特別授業に耳を傾ける様子取材して頂きたいをお願い申し上げます。なお、参加者や引率者への個別インタビュー取材もご相談により対応可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

■ 本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

（担当：北村、太田）